育成会だより

2023年度 第3号

発行 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町7番9号

TEL: 0796-24-3660 FAX: 0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] http://www.toyoteiku.com/

編集 本部事務局 2024年2月29日

新年のご挨拶

新たな年を迎え、早二か月が過ぎ、もう新年という雰囲気ではなくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか?元日夕刻の能登地震、翌二日には羽田空港事故と立て続けに正月気分もすっかり吹き飛ぶような出来事があり、通常ではない年の幕開けとなりました。

能登では今も余震が続いており、崩れ落ちた家屋・積み上げられた災害 ごみなど目にする度に、復興への道のりの遠さを想わずにはいられません。でも、ボランティア の派遣も始まり、少しずつ支援の輪が広がりつつあります。

豊岡においても、2004年10月台風23号の折には、兵庫県手をつなぐ育成会をはじめ施設協会や全国の手をつなぐ育成会から多くの義援金等ご支援いただきました。その後、各地で起きた災害の折には、私たちもその時々に出来る精一杯の支援をお届けしてきました。この度も、法人内で義援金のお願いをいたしましたところ、大勢の皆様に応じていただきました。一人ひとりの力は小さなものですが、それが集まれば大きな力になります。

さて、遅ればせながら、昨年 12 月に行われました「フェスタはばたけ 14th」のご報告をします。今年は、12 月 9 日障害者の日に開催し、より地域の皆様への啓発につながったイベントとなりました。ほっとステージでは、「はばたけ鼓心」の迫力のある和太鼓演奏から始まり、利用者さんによる「はばたけパフォーマンス」踊りや創作劇等多彩なステージになりました。ゲストによるアコースティッ

クギターの弾き語り、大道芸パフォーマンス、



2 組登場していただきました。活動室では、お茶席、アートイベント、交流サロンでは、はばた け縁日、カフェ、アート展と多くのお客様にご来場いただき誠にありがとうございました。

これからも、自然災害や感染症等避けようがない困難に直面することがあったとしても、ピンチをチャンスに変え、地域全体で支えあって、明るく楽しい福祉の充実に邁進する所存です。 皆様のご理解ご協力をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

理事長 中井 佳与子

生活介護ほっと より

新しい年が始まりました。新年を迎えると LAULAU の玄関には、毛筆で力強く書かれた「迎春」の文字、新年の抱負・手形で制作した今年の干支、"甲辰 (きのえ・たつ)"が、飾られました。どれも利用者さんたちの力作です。

昨年も、はばたけの年に一度の恒例行事が 2 つありま



した。10月は待ちに待った研修旅行。旅行前に保護者・利用者さんとの入念な話し合いや準備をして、怪我無く楽しい時間を過ごす事ができ、普段とは違う表情もたくさん見られました。そして!! 今回初めて、はばたけ旅行に参加された利用者さんもいらっしゃいました。色んな場所を見て、体験して、楽しんで満面の笑顔と笑い声がありました。新たな時間と体験を、職員も一緒にさせて頂き感激でした。

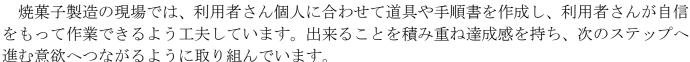


12月にはフェスタはばたけ 14th に参加しました。初ステージの利用者さんが、二人おられ本番前はドキドキされていましたが、日々の練習の成果が見られ一人ひとりが主役で個々の良さを表現した素晴らしい舞台となりました。また、フェスタを初めて鑑賞参加された利用者さんは、会場の熱気をしっかり全身で体感されてよい経験となりました。

今年も利用者さん、職員一丸となり新しい事に挑戦し、充実した年になるよう頑張ります! (O)

就労継続支援B型すい一つ より

就労継続支援B型事業所すい一つは、製菓部門『pono(ポノ)』、 配食サービス『もみじ家』、カフェ部門『HABATAKE Sweets Café』 があり日々利用者さんが作業されています。



『pono (ポノ)』のお菓子は、「美味しく健やかに」をテーマに厳選した材料を使った商品を皆様にお届けしています。バレンタイン・ホワイトデーなどイベント商品を企画しており、利用者

さんも張り切って作業に取り組まれています。心を込めて作った 美味しい焼菓子を是非手に取って下さい。昨年からイベント・学



校祭等出店販売の機会も戻りつつあります。対面での販売はお客様の反応を直接感じることが出来る貴重な場です。 あいさつをし、商品の説明や受け渡しもしっ



かりとされています。小さいお子さんには目の高さを合わせ対応 することも出来ています。販売の経験は利用者さん達の自信になっているように思います。 (W)

生活介護じゃんぷ より

1月登所初日、中島神社に初詣に行きました。 朝はあいにくの雨で心配していましたが、昼には雨も やみ気持ちよく参拝することができ、おみくじを引い たり一年の願い事をしたりしました。





月に一度アートの時間を設けています。その際イベントに向けての作品や自分で考えた作品を作ったりしています。1月のアートは紙皿を使って鬼の面を作りました。1人1人の個性が光っている素晴らしい作品を仕上げることが出来皆さん満足されていました。

このような活動で達成感や仲間と協力をすることの大切さ を知り、日々の生活に役立てばいいなと思っています。

(O)

障害児通所支援事業つくし より





昨秋は栗拾い、オリエンテーリング、がっせぇアート見学、ハロウィンなど楽しい活動がたくさんありました。栗拾いは、職員の知人のご厚意で毎年お誘いいただいておりお邪魔しました。あいにく少し早かったようで落ちている栗を探すのが大変でしたが、いがの中から足を使って栗を取り出す体験ができました。

前年に続きハロウィンではご近所の協力を得てお菓子を頂き に行きました。利用児さんはオレンジ色の帽子をかぶり、お菓

子を入れるために自分たちで作ったバックを持って回りました。ドキドキしながら「トリックオアトリート」と言ってお店に入ると「よく来たね」と温かく声を掛けてくださりお菓子をバックに入れてもらいました。みんなニコニコで嬉しそうでした。また、散歩中に知り合った近所の高齢女性に思い切って訪問することをお願いすると快く引き受けていただき、当日は犬と一緒に待っていてくださいました。前年より1軒増え3軒のお宅を訪問することができ、改めてご近所の方々のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。令和6年は災害や事故の大きな惨事で始まりましたが、つくしはいろいろな方々に支えられながら元気に活動していきたいと思います。



 (\mathbf{O})

グループホーム OHANA より

グループホーム OHANA にじー1に、2023年 11月より新たな利用者さんが入居されました。これにより、OHANA は全て満室となりました。

入居当初は、慣れない環境で夜眠れないこともあったようですが、徐々に慣れてこられたようです。隣室が同じすい一つメンバーということもあり、登所も一緒に行かれます。

また、新たなメンバーが加わったことにより、お互いに居室を訪問し合って茶話会を催すなど、 これまでにはなかった光景がみられるようになりました。

今はまだ、ホームは泊まりに行く場所というイメージのようですが、いずれ住む場所として、ホームでの生活を楽しんでいただきたいものです。

 (\mathbf{M})

ヘルパーステーションはぁと より

№ 訪問散髪 99

行動援護・重度訪問サービスを利用されている方への支援。 段差や天候によって現地へ行けない方の為にグループホームまで来て 頂いています。

到着後は必ず利用者さんに優しい笑顔で挨拶され、散髪道具やシートの準備を始めます。慣れてこられた事もあり冗談を言ったりし温かい雰囲気は本当にリラックス出来ます。嬉しくて体を動かされる方に対しても動きに合わせて切って下さる所も魅力のひとつではないでしょうか。



コミュニケーションは口話と・筆談、非言語のサイン・表情で察知して下さるので、負担も少な く快適な環境でヘアースタイルを調えることができます。

今後も意見交換を行うなど信頼関係を構築していき、より良い支援が提供出来ればと思います。 (A)

本人部会より

コロナ・インフルエンザの感染対策をしながら、10 月にボウリング大会、11 月はカラオケ、12 月には夜の部として居酒屋での忘年会をしました。夜の部は 4 年ぶりの開催で参加された利用者さんからは、「料理がおいしかったのでたくさん食べた!」「楽しかったぁ!」「また行きたいです!」との声が聞かれました。

今後も、多くの利用者さんに参加していただけるような企画を計画していきます。(O)



編集後記

寒暖差が大きい季節です。コロナもインフルエンザも油断できません。 手指消毒・マスク着用等で、予防に努めましょう。(O)